

アテナ【母親の美しさに関する国際調査】
母親の美しさに厳しい日本人！母親をとっても美しいと感じている娘は9.5%
母親に美しさを伝えている日本人、わずか3割未満！
 ～“母親の美しさ”をテーマにしたショートドキュメンタリー
 「お母さんのキレイなところ」8月21日(木)同時公開～

今年ブランド創業25周年を迎えた株式会社アテナ(所在地:神奈川県横浜市栄区飯島町53 代表取締役社長:須釜 憲一)は、このたび世界の4大陸からそれぞれ1カ国ずつ選出した、日本、アメリカ、フランス、南アフリカ共和国の4カ国の10代～20代の女性約400名に対し「母親の美しさに関する国際調査」をインターネットを通じて実施いたしました。

アテナは、ブランド創業以来一貫して、お客様一人一人の“うつくしさ”と“想い”に向き合い、それらに応える形で様々な商品・サービスを生み出してまいりました。今年25周年を迎え、この創業の想いに立ち返ると共にこれからも本当の“うつくしさ”を提案し続ける為に、一番身近な家族である娘から見た「母親の美しさ」をテーマとした国際調査を実施いたしました。

その結果、日本は他3カ国と比較して最も母親の美しさに対する評価が厳しく、母親と女性に求める美の評価基準に乖離があるという事が分かりました。さらに、母親に対して美しいと感じるポイントを日常的に伝えている女性は、わずか3割未満に留まり、最も母親への評価を伝えない傾向にあることが明らかになりました。

この結果をふまえ、アテナでは、他人からの評価を受けにくく、自分自身の美しさに向き合う機会が少ないであろう日本の母親達に、改めて自分自身の“うつくしさ”に気づいていただきたいと考え、ショートドキュメンタリー「お母さんのキレイなところ」を制作いたしました。8月21日(木)よりアテナオンライン(<http://www.attenir.jp>)にて本調査結果とともに公開いたします。調査の要約は以下の通りです。

小学生と高校生それぞれの娘達から見た、母親の美しさに関する素直な想いを収録した、ショートドキュメンタリー「お母さんのキレイなところ」で最も身近な娘から見た母親の美しさの形をご覧ください。

＝調査結果ダイジェスト＝

■世界4カ国共通、娘は母の“ありのまま”の美しさを評価

約9割が母親を“美しい”と感じている！

- ▶世界4カ国の女性達、母親を美しいと感じている女性は87.7%。さらに、81.2%が母親のような女性になりたいと回答。
- ▶母親を最も美しいと感じるのは、4カ国とも「家族と過ごす日常的なシーン」が1位に。また、「好きな事をしているシーン」など“自分らしく”、“ありのまま”の姿を評価する傾向が強い。

■世界4カ国でこんなに違う！美に対する評価基準

日本だけが“母親”を“女性”として評価していない傾向に！？

- ▶母親の美しさのポイント、日本は内面的要素を、他3カ国は外見的要素を高く評価。
- ▶一方で、女性に求める美の基準では、日本は外見的要素を高く評価している。母親と、女性に対する美の評価点が異なる日本は、“母”を“女性”として評価していない傾向に？

■母親の美に対する評価が最も厳しく、母への評価を口に出さない日本人。

- ▶年齢を重ねたときの美の評価、最も高い南アフリカ共和国85.6%に対して、日本は41.0%と最も低い結果に。
- ▶友人には美しさを伝えている一方で、母親に日常的に美しさを伝えている女性は、わずか3割未満という結果に。身内ほど評価できない日本人にこそ感じて欲しい、“うつくしさ”の再定義。
- ▶母親を「とても美しい」と回答した日本人女性、わずか9.5%で4カ国中最下位。
- ▶また、母親の美しさに対する日本人女性の平均点、最も低い66.5点という結果に。

■Attenir 25th Anniversary Movie Series #2

ショートドキュメンタリー「お母さんのキレイなところ」8月21日(木)公開

株式会社アテナは、創業25周年を迎えた2014年、お客様との想いに向き合い形にし続けてきたブランドとして新たに“おしみなく、うつくしく。”というブランドステートメントを定めました。そして、日本人女性に向けて、想いを伝える事をテーマにしたショートムービー「届かない手紙」を6月3日(火)より公開。1か月で26万回の再生回数を記録し、多くの女性達の共感を呼びました。

今回第2弾として「母親の美しさに関する国際調査」で明らかになった、“女性”として評価される機会が少ない日本の母親達に向けて、娘から見た母親の美しさをテーマにしたショートドキュメンタリー「お母さんのキレイなところ」を制作。母親達が自分自身の“うつくしさ”と向き合い、女性としてもっと美しくなるきっかけを作っていただきたいという想いから、小学生・高校生それぞれの娘達から見た母親の美しさをストレートに切り取りました。本作品は、調査結果と共に8月21日(木)より、アテナオンライン(<http://www.attenir.jp>)ならびにYouTubeチャンネル(<https://www.youtube.com/user/JpAttenir>)上で公開いたします。

■ストーリー(小学生篇)

お母さんのキレイなところは？ —かざらない、そのままのお母さん！

『母親の事をとても美しいと感じている娘、日本はわずか9.5%』

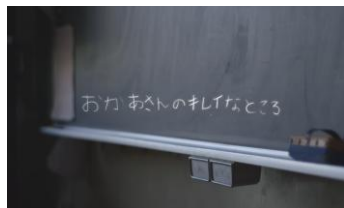
母親の美しさに厳しい日本の娘達は、お母さんの美しさをどのように捉えているのでしょうか。

放課後の小学校。小学生の女の子たちに、「お母さんのキレイなところ」をテーマにした秘密のインタビューを実施しました。“お母さんのキレイなところは？”という質問をすると、はにかみながら、子どもたちの視点から見た母親の美しさに対する素直な言葉が次々と零れ出します。

そんな、普段なかなか言葉にする機会がない、“お母さんのキレイなところ”を、小川原沙紀(おがわらさき)ちゃん(8歳)に手紙に綴ってもらいました。4人姉妹の長女の沙紀ちゃんは、普段家事や育児で忙しいお母さんに向けて、どんな想いを手紙にしたためののでしょうか。

家に帰って、お母さんに手紙を朗読すると・・・意外な言葉に涙ぐむお母さん。

子どもたちが、普段意外な視点で“お母さんのうつくしさ”を捉えていることをストレートに伝えるドキュメンタリームービーです。



■ストーリー(高校生篇)

お母さんのキレイなところは？ —変化するお母さんの美しさに刺激を受ける。

女優を目指して上京してきた、福岡出身の高校生水瀬 梨乃(みずせ りの)さん(15歳)に聞いた、“お母さんのキレイなところ”。普段お母さんと離れて生活している彼女に、女性としての母親に対する印象や、関係性の変化などを聞いてみました。

『母親に日常的に“美しい”と伝えている娘の割合、日本は3割未満』

一方、離れている環境に対する不安や葛藤を抱えながら、それでも日々成長していく娘を見守るお母さん。

そんなお母さんと4か月ぶりに東京で再会し、普段なかなか言葉に出来ない“お母さんのキレイなところ”を、直接伝えてもらいました。

中々切り出せないまま時間だけが過ぎていき、やっと母親に伝えられた想いとは・・・

母親から見た娘の成長と、思春期の娘から見た、一人の女性としての母親の美しさに対する想い。

小学生篇とは少し異なる、娘が感じる「お母さんの美しさ」もお楽しみ下さい。



【動画概要】

タイトル :「お母さんのキレイなところ」小学生篇/「お母さんのキレイなところ」高校生篇
公開日 :2014年8月21日(木)
URL :アテナオンライン <http://www.attenir.jp>
YouTubeチャンネル <https://www.youtube.com/user/JpAttenir>

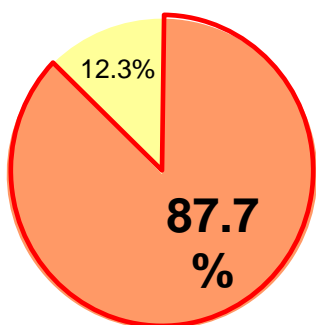
PART1 世界4カ国調査 母親の美しさについて ～世界4カ国共通、娘は“ありのまま”の美しさを評価～

- 世界4カ国の女性達、母親を美しいと感じている女性は87.7%。
さらに、81.2%が母親のような女性になりたいと回答。
- 母親を最も美しいと感じるのは、4カ国とも「家族と過ごす日常的なシーン」が1位に。
また、「好きな事をしているシーン」など“自分らしく”、“ありのまま”の姿を評価する傾向が強い。

まずはじめに、世界4大陸から選出した、今回の調査対象である4カ国の女性に対して、各自の母親の美しさについて聞きました。その結果、今回の回答者の約9割が、母親を美しいと感じているという結果になりました。
さらに、母親を美しいと感じるシーンを聞いたところ、家族と過ごす日常的なシーンや、好きな事をしているシーンが上位にランクイン。“自分らしく”、“ありのまま”の母親を美しいと評価する傾向にあるようです。
また、81.2%の女性が「母親のような女性になりたい」と回答しています。
世界の女性達は、一番身近な母親の“ありのまま”を美しいと感じ、そんな母親に憧れを持っている事が分かりました。

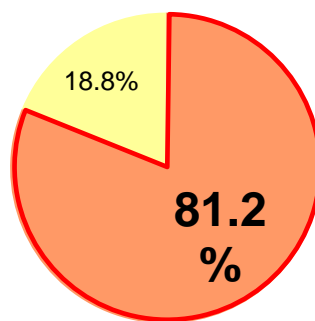
■87.7%の女性が母親を美しいと感じている！ また、81.2%が母親のようになりたいと回答

Q1. あなたは母親の美しさについて、
どう感じていますか？ (SA/n=415 ※4カ国合計)



■ 美しいと思う ■ 美しくないと思う

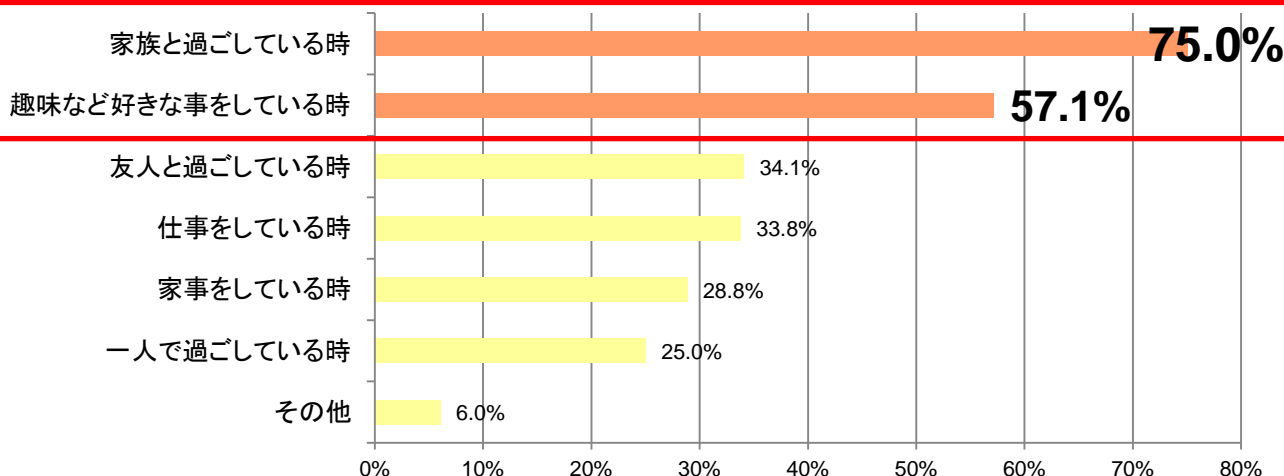
Q2. あなたは母親のようになりたいと思いますか？
(SA/n=415 ※4カ国合計)



■ なりたいたいと思う ■ なりたいたとは思わない

■世界4カ国共通、娘は“ありのまま”の美しさを評価

Q3. 母親が美しいと感じるのはどのような時ですか？ (MA/Q1で美しいと回答した人n=364 ※4カ国合計)



PART2 “美”の基準 国際比較 ～こんなにも違う！世界4カ国の美の評価基準～

- 母親の美しさのポイント、日本は内面的要素を、他3カ国は外見的要素を高く評価。
 - 一方で、女性に求める美の基準では、日本は外見的要素を高く評価している。
- 母親と、女性に対する美の評価点が異なる日本は、“母親”を“女性”として評価していない傾向に？

次に、それぞれの国が持つ“美”に対する評価基準を比較しました。
 まず、母親に求める“美”について聞いたところ、日本は内面的要素を高く評価する一方で、他3カ国は「顔立ち」という外見的要素を高く評価している結果となりました。一方で、女性に求める美の基準に関して聞いたところ、「顔立ち」が重要だという回答は日本が最も高い結果に。他にも、日本は他3カ国と比較して「若さ」「ファッション」「美容にかけられるお金」など、外見的な基準を高く評価している事が分かりました。
 母親と、女性に対する美の評価点が異なる日本は、“母親”と“女性”を分けて評価する傾向にあり、母親が女性として評価されにくい環境にあると言えるのかもしれない。

■ 母親の美しさ。日本は内面的要素を、他3カ国は外見的要素を高く評価

Q4. 母親のどのような点が一番美しいと思いますか？ (SA/日n=105, 米n=103, 仏n=103, 南阿n=104)

【母親の最も美しいと感じるポイント】

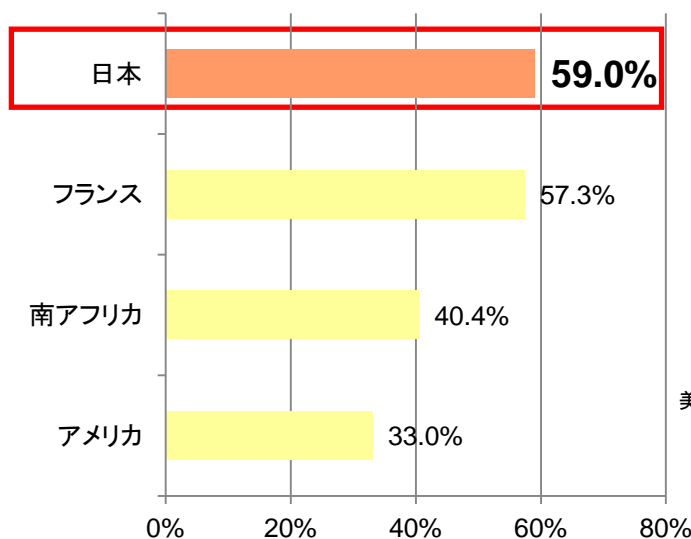
日本	性格・知性などの内面	24.7%
アメリカ	顔立ち	31.0%
フランス	顔立ち	40.7%
南アフリカ共和国	顔立ち	26.9%

■ 女性に求める美の基準では、外見的要素を高く評価！

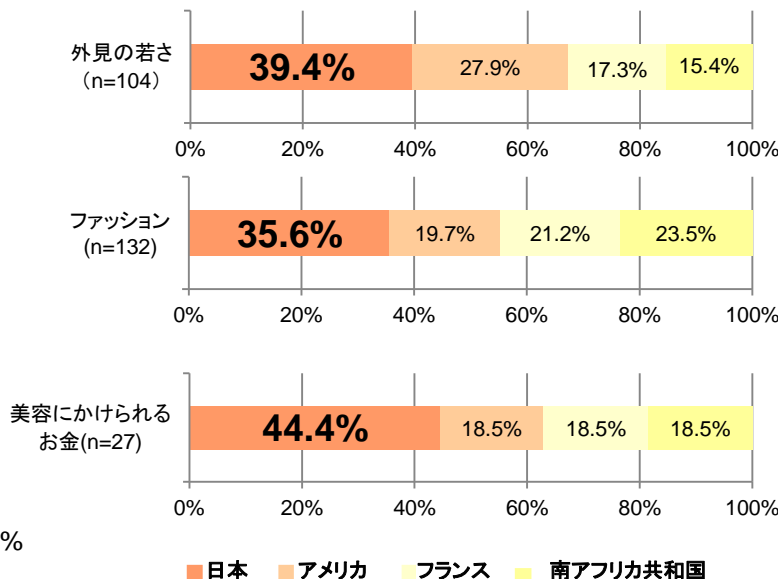
母親との評価点が異なる日本、“母親”を“女性”として評価していない傾向に？

Q5. 女性の美しさに何が大切だと思いますか？ (MA/日n=105, 米n=103, 仏n=103, 南阿n=104)

【「顔立ち」が大切だと回答した人】



【日本が特に高く評価したポイント】



PART3日本女性の母親の“美”に対する評価 ～最も美に対する評価が厳しく、本人に伝えない傾向に～

- 年齢を重ねたときの美の評価、最も高い南アフリカ共和国85.6%に対して、日本は最も低い41.0%。
- 友人には美しさを伝えている一方で、母親に日常的に伝えている女性はわずか3割未満。身内ほど評価できない日本人にこそ感じて欲しい、“うつくしさ”の再定義。
- 母親を「とても美しい」と回答した日本人女性、わずか9.5%で4カ国中最下位。
- また、母親の美しさに対する日本人女性の平均点、66.5点と最も低い結果に。

最後に、日本の母親の美に対する評価について調べました。年齢を重ねたときの母親の美に対する評価は、南アフリカ共和国85.6%が最も高く、日本は41.0%と最も低い結果となりました。また、美しさを本人に伝える機会について聞いたところ、友人には美しさを伝えている一方で、母親に日常的に伝えている女性はわずか3割未満という結果となりました。さらに、母親の“美しさ”に対する評価も日本が最も厳しく、母親に対する憧れも、最も弱い傾向にあることが分かりました。

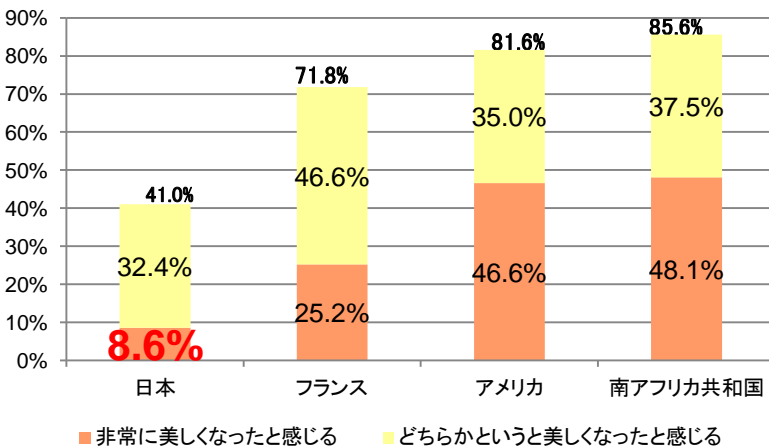
一番身近な存在である娘が、母親に美しさを伝えられていない現状が、日本の母親が自分の美しさに気づき、向き合う機会が少ない環境を作り上げているのかもしれませんが、母親になった途端、“女性”として評価される機会が少なくなり、“美しさ”に向き合にくい環境を持つ日本。身内ほど評価できない日本人にこそ、本当の美しさとは何なのか、“うつくしさ”を再定義する必要があるのかもしれませんが。

■ 年齢を重ねたときの美の評価、最も高い南アフリカ共和国85.6%に対して、日本は41.0%と最も低い結果に

Q6. 10年前と比較して、現在の母親を“より美しくなった”と感じますか？

(SA/日n=105, 米n=103, 仏n=103, 南阿n=104)

【10年前より今が“美しい”と回答】



10年前と比較した、現在の母親の美しさを聞きました。日本以外の3カ国は、70%以上が、歳を重ねた現在の母親の方が“美しい”と回答したのに対し、日本は半数未満の41.0%という結果になりました。また、「非常に美しくなった」と回答した人は、最も多い南アフリカ共和国48.1%に対し、日本は8.6%と一割に満たない結果に。

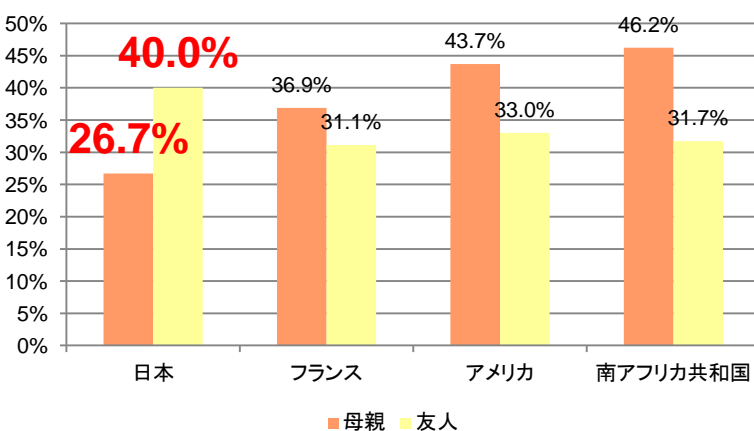
年齢を重ねるごとに、美しさが評価される他3カ国に比べ日本は美に対する評価を受ける機会が減っていく傾向にあるようです。

■ 身近な人にほど伝えられない日本人。美しさを伝えている女性は26.7%

Q7. あなたは、母親、友人との関係の中で、美しさについて日常的に伝える事はありますか。

(SA/日n=105, 米n=103, 仏n=103, 南阿n=104)

【日常的に伝えていると回答】



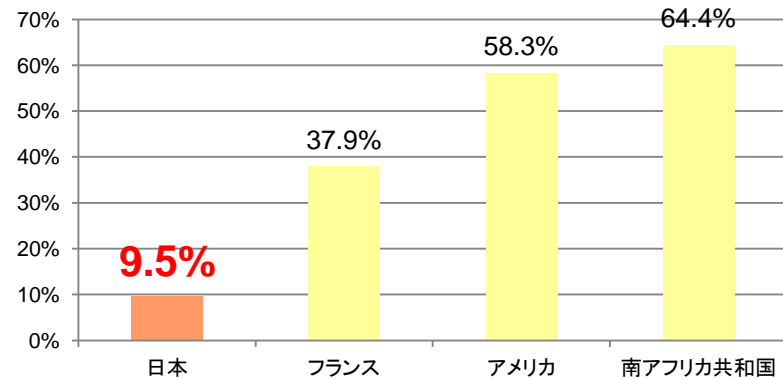
美しさを、本人に直接伝える機会について聞きました。日本人の40.0%が、友人に対して美しさを日常的に伝えている一方で、母親に対して伝えている女性は3割未満という結果に。他3カ国は、身近な家族である母親に、美しさを伝える機会が、友人よりも多いのに対し、日本は身近な人ほど美しさに対する評価を伝えない傾向にある事が明らかになりました。

日本は“母親”である女性が、自らの美しさに気づきにくく、また向き合にくい環境と言えそうです。

■母親の美しさに対する評価、日本が最も厳しい傾向に

Q1. あなたは母親の美しさについて、どう感じていますか？(SA/日n=105, 米n=103, 仏n=103, 南阿n=104)
【とても美しいと感じている】

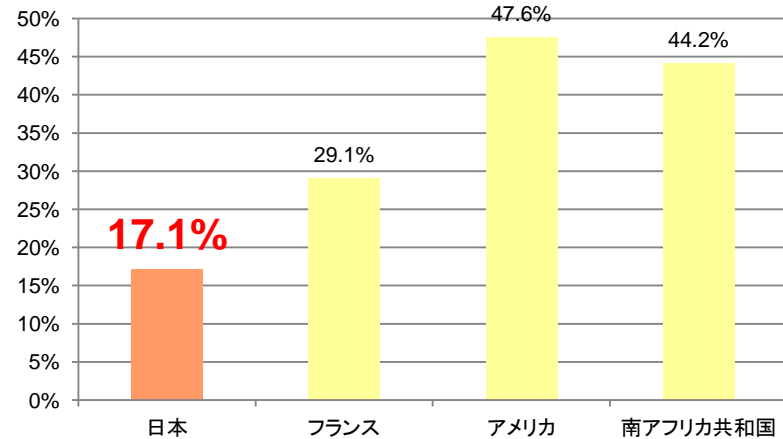
Q8. 母親の美しさに点数をつけるとしたら何点ですか？(SA/日n=105, 米n=103, 仏n=103, 南阿n=104)
【母親の美しさに対する平均点】



- | | | |
|----|----------|-------|
| 1位 | 南アフリカ共和国 | 87.2点 |
| 2位 | アメリカ | 86.2点 |
| 3位 | フランス | 79.2点 |
| 4位 | 日本 | 66.5点 |

Q9. あなたは母親のようになりたいと思いますか？(SA/日n=105, 米n=103, 仏n=103, 南阿n=104)
【とてもそう思うと回答】

母親の美しさの評価を聞いたところ、「とても美しい」と評価している女性が、日本は1割未満という結果となりました。半数以上が高い評価をしている南アフリカ共和国(64.4%)やアメリカ(58.3%)と比較すると、母親に対する美の評価が厳しい現状が伺えます。



また、母親のような女性に憧れる娘の割合も、日本が最も低い結果に。

“女性”として評価されにくく、伝えられる機会も最も少ない日本の“母親”達。娘や身近な人から、“女性”として評価を受ける機会が増えれば、母親達も、自分の美しさに貪欲に向き合うきっかけになるのかもしれない。

【調査概要】

- 【調査対象と回収サンプル数】 全国の10～20代の女性415名
- 【調査地域】 4カ国(日本/アメリカ/フランス/南アフリカ共和国)
- 【調査方法】 インターネット調査(調査会社の登録モニター活用)
- 【調査期間】 2014年7月

※当リリース記載のグラフ等のデータの提供ご希望がございましたら、PR事務局までお問い合わせください。
※本ニュースリリースに記載されている調査結果の掲載に関しては、「アテナ」調べと記載ください。

<動画、調査に関する報道関係の皆様からのお問合せ先>

アテナ PR事務局(株イニシャル内)担当: 筑摩・吉木・村木
TEL:03-5572-6064 /FAX: 03-5572-6065
Mail:attenir_pr@vectorinc.co.jp

<報道関係者からのお問い合わせ先>

株式会社アテナ 広告宣伝部PRグループ

まさき みさ
間崎 美佐(mimasaki@fancl.co.jp)

うちだ
内田 このみ(konomi_1204@fancl.co.jp)

すごう りか
須郷 李華(rika1405@fancl.co.jp)

〒231-0023 横浜市中区山下町89-1-9F

TEL: 045-226-1634 / FAX: 045-226-1459

<読者からのお問い合わせ先>

アテナ美容相談室

☎ 0120-165-333
www.attenir.co.jp